コンピュータリテラシ発展 ~Pythonを学ぶ~

第5回:Excel作業を自動化しよう(2)

学立。学科 メディア 真攻 対心 (shimizu@info.shonan-it.ac.jp)

今回の授業内容

今回の授業内容

- ・ 回の課 解
- Excelファイルの幅片
- Excelのレイアウトを繰り
- 課

前回の課題解説

前回の課題解説

- 型回の課 の解答例を します
- 解答例についる質問があればご運搬ください

解答例

(解答例を作成したらURLをり付ける)

Excelファイルを編集する

Excelファイルを新規作成する

• Excelファイル(ワークブック)を新規作成します

```
import openpyxl as op
wb = op.Workbook()
wb.save('filename.xlsx')
```

- Workbook の引数を空にすると新しいワークブックを み込みます
- save() メソッドで します
- 愛所を指定したい 愛合はパスを含めて指定する必 があります

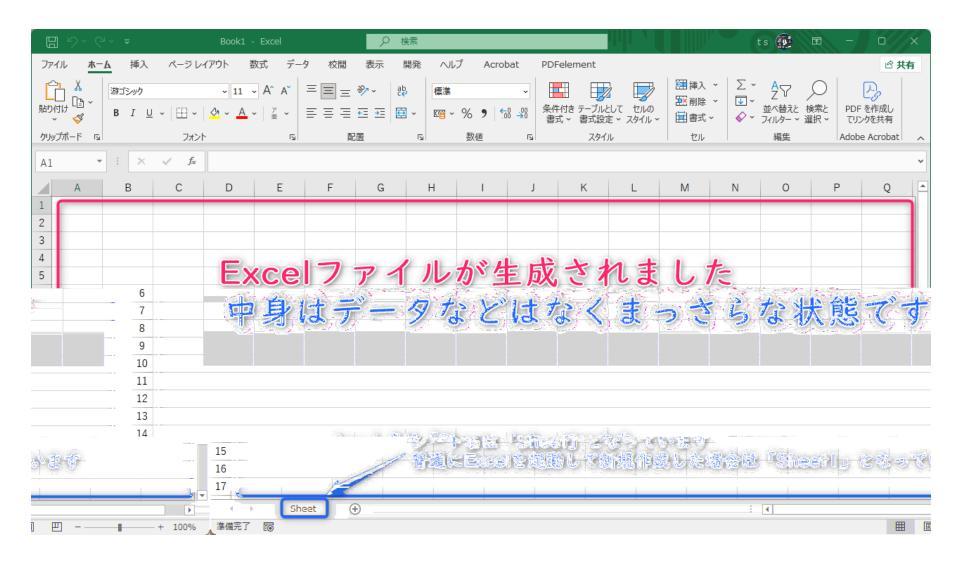
Excelファイルを新規作成する

• Excelファイル(ワークブック)を新規作成します(パスを含む 合)

```
import openpyxl as op
wb = op.Workbook()
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/filename.xlsx')
```

- Workbook の引数を空にすると新しいワークブックを み込みます
- save() メソッドで します
- 愛所を指定したい 愛合はパスを含めて指定する必 があります

新規作成したExcelファイルの確認



Work

念を指定してシートを達加します

reate_sheet(index = 数字, title = 'シート名')

ます

Excelシートを追加/削除します

• 新しいシートを達加します

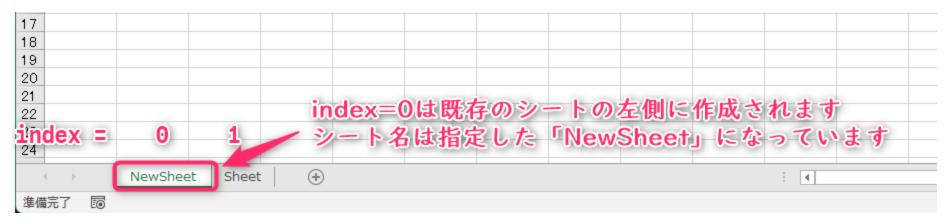
```
wb = op.Workbook()
wb.create_sheet()
print(wb.sheetnames)
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/create_sheet.xlsx')
```



Excelシートを追加/削除します

• 入位でとシート名を指定して新しいシートを達加します

```
wb = op.Workbook()
wb.create_sheet(index = 0, title = 'NewSheet')
print(wb.sheetnames)
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/create_sheet.xlsx')
```



Excelシートを追加/削除します

• シートを 違加して既 のシートを削 します

```
wb = op.Workbook()
wb.create_sheet()
print(wb.sheetnames)
wb.remove(wb['Sheet'])
print(wb.sheetnames)
```

セルの値を編集します

- 指足したセルを続けします
 - **繋 図を入力**します : Worksheetオブジェクト[セル] = '文字列'

 - 数式を入力します : Worksheetオブジェクト[セル] = '=数式'

セルの値を編集する

```
wb = op.Workbook()
sheet = wb.active

sheet['B2'] = '文字列'  # 文字列
sheet['B3'] = '10'  # 文字列としての数字
sheet['B4'] = 10  # 数字
sheet['B5'] = 20  # 数字
sheet['B6'] = '=sum(B4:B5)' # Excelの関数

wb.save('/content/drive/MyDrive/???/cell.xlsx')
```

セルの値を編集します (結果)



フォントを設定します

- Font() 関数:セルのフォント **L**をする関数です
- Font() 関数を使図するには op.styles.fonts.Font と書く必 があります
- 書くのが 大変なので関数を指定してインポートしておきます

```
import openpyxl as op
from openpyxl.styles.fonts import Font
```

Font 関数の基 的 な使い方です

```
Font (キーワード引数1=値, キーワード引数2=値・・・)
```

細: https://openpyxl.readthedocs.io/en/stable/styles.html

フォントを設定します

Font 関数の基 的 な使い方です

```
Font (キーワード引数1=値, キーワード引数2=値・・・)
```

● 伊:フォントサイズを18pt,太 繋 にする をです

```
Font(size=18, bold=True)
```

• 伊:フォントサイズを24pt, にする とです

```
Font(size=24, italic=True)
```

Font() 関数の代表的な引数

引数名	データ型	解説			
name		フォント名を指定します(例: name='メイリオ')			
size	整数型	フォントsizeを変更します(例: size=18) True で大変人になります。 (例: size=18)			
bold	ブール型	True ではますよりますより (Cld=True)			
italic	ブルル	True でイタリック()になります(例: italic=True)			
color	文 图型	カラーコードで *** の色を指定します(タ: color='FF0000')			

フォントを設定します

```
wb = op.Workbook()
sheet = wb.active

sheet['B2'] = '18pt bold'
sheet['B2'].font = Font(size=18, bold=True)

sheet['B4'] = '24pt 下線'
sheet['B4'].font = Font(size=24, underline='single')

wb.save('/content/drive/MyDrive/???/font.xlsx')
```

フォントを設定します (結果)

	Α	В	С	D	Е	<u> </u>
2		18pt b	old			
3						
4		<u>24pt</u>	下線			
5						
6						
7	Sheet +			: 4		

Excelのレイアウトを編集

Excelの行高と列幅を設定する

- Excelの行高と図した をする方 ***
 介高: 行番号を指定して高さの数 (ポイント)を入力します

Worksheetオブジェクト.row_dimensions[行番号].height = 高さの数値

○ 列幅: 図 号を指定して配の数 (文字数)を入力します

Worksheetオブジェクト.column_dimensions[列番号].width = 幅の数値

行高と図して 位が異なるので 意が必 です

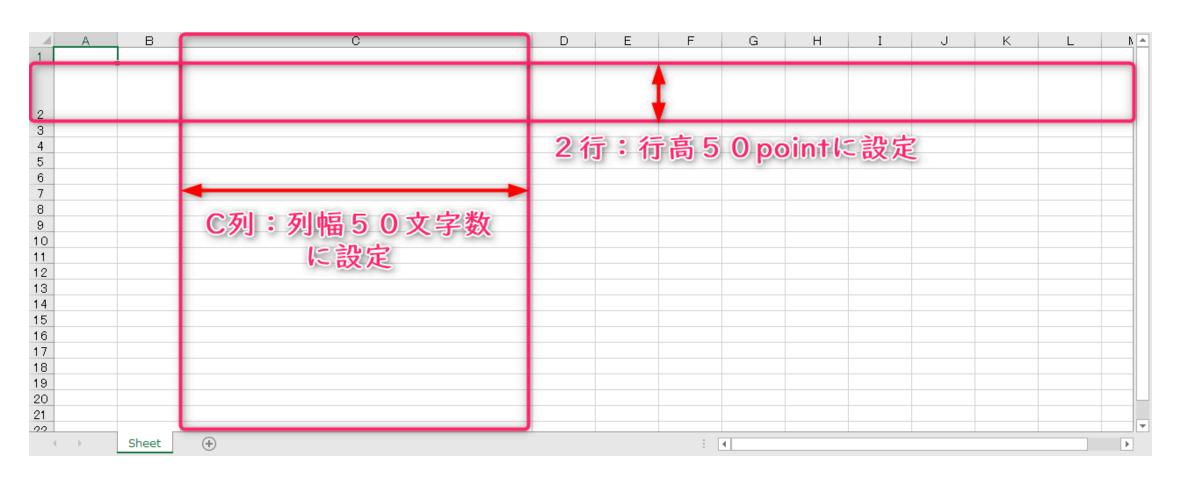
Excelの行高と列幅を設定する

```
    Excelの行高と図した とする例です。
    行高の設定: 2行目を「50」に とします。
    列幅の設定: C図目を「50」に とします。
```

```
wb = op.Workbook()
sheet = wb.active

sheet.row_dimensions[2].height = 50
sheet.column_dimensions['C'].width = 50
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/row_column.xlsx')
```

Excelの行高と列幅を設定する(結果)



Excelの行や列を非表示にする

行や列を非表示にする hidden 属性

行や列を指定して非表示設定にします

```
Worksheetオブジェクト.row_dimensions[行番号].hidden = True
Worksheetオブジェクト.column_dimensions[列番号].hidden = True
```

非表示の行や列を表示します

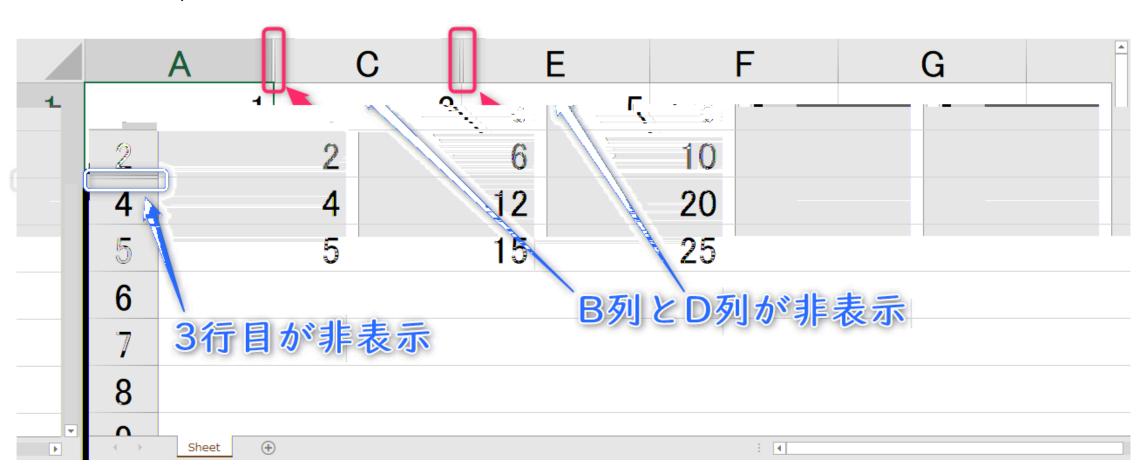
```
Worksheetオブジェクト.row_dimensions[行番号].hidden = False Worksheetオブジェクト.column_dimensions[列番号].hidden = False
```

Excelの行や列を非表示にする

3行目とB,D図を非 上にする例です

```
wb = op.Workbook()
sheet = wb.active
#セルA1~E5に1~25の数字を入れる
for i in range(1,6):
  for j in range(1,6):
   sheet.cell(j,i).value = i * j
sheet.row_dimensions[3].hidden = True
                                                     # 3行目を非表示
sheet.column dimensions['B'].hidden =True
                                               # B行を非表示
sheet.column_dimensions['D'].hidden =True
                                                     # D行を非表示
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/row_column_hidden.xlsx')
```

Excelの行や列を非表示にする



Excelの行と列を固定表示にする

Excelの行と列を固定表示します

- 固足する行や図の下もしくは右、右下のセルを指足します
- 伊:1行目のみ固とする 合:指とするセルは「A2」
- 例:B図はで固足する 🖟:指足するセルは「C1」
- 伊:2行目とC図まで固足する 合:指足するセルは「D3」

Worksheetオブジェクト freeze_panes = セル

Excelの行と列を固定表示にする

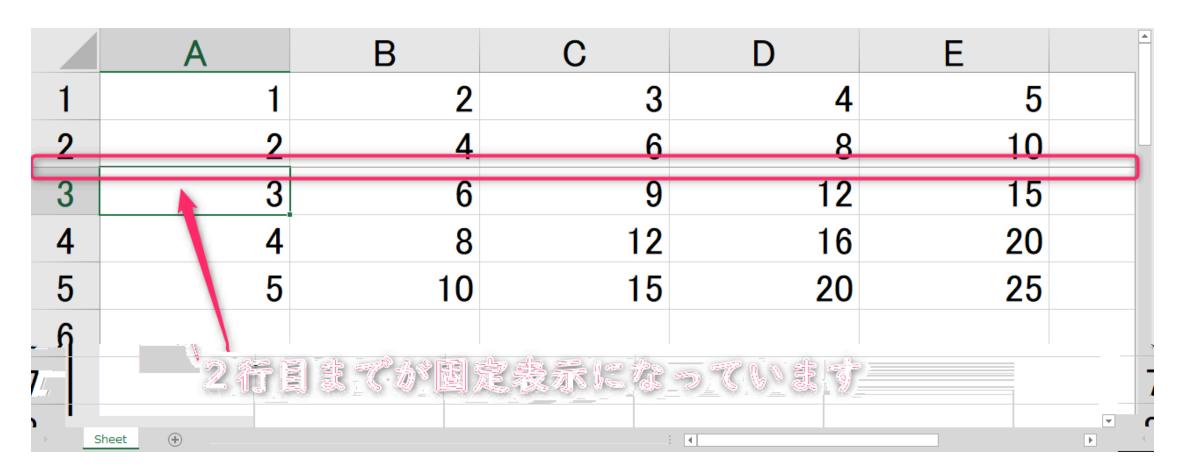
• 2行目までを固定にします

```
wb = op.Workbook()
sheet = wb.active

#セルA1~E5に1~25の数字を入れる
for i in range(1,6):
   for j in range(1,6):
      sheet.cell(j,i).value = i * j

sheet.freeze_panes = 'A3' # 2行目までを固定:セルA3を指定
wb.save('/content/drive/MyDrive/???/freeze-panes.xlsx')
```

Excelの行と列を固定表示にする(結果)



課題

課題

- Moodleにある「SCfCL-05-prac.ipynb」ファイルをダウンロードしてColabにアップロードしてください
- 課 が完了したら「File」>「Download」>「Download .ipynb」で「.ipynb」形式でダ ウンロードしてください
- ダウンロードした .ipynbファイル と作成した Excelファイル3つ をMoodleに 出してください
- 出期限は10月24日(木) 20時までです